

## 令和4年度事業報告書

### 内容

I.	四日市市障害者体育センター管理・運営にあたって	3
1.	令和4年度四日市市障害者体育センター利用実績	3
II.	管理・運営を行うにあたっての基本方針	5
1.	四日市市障害者体育センターの設置目的を踏まえた指定管理者としての基本方針	5
2.	障害者のスポーツ、レクリエーションの振興	6
3.	利用促進、利便性向上、経費削減等提案	6
III.	施設管理運営の実施方針	6
1.	管理運営、人員体制に関する実施方針	6
2.	施設・設備のメンテナンス	6
3.	施設利用者様の安全性確保・体調不良時の一時対応	7
4.	法令遵守、個人情報保護	7
5.	管理運営における利用者様の意見の反映	7
6.	新型コロナウイルスなど感染症等への対応	7
IV.	施設等の管理運営方針について	7
1.	施設の運営体制や組織について	7
2.	組織図表に記載された職員の雇用関係、勤務体制(勤務時間、休日等)、担当業務内容、保有資格、技術、緊急対応時の役割を明記した一覧	9
3.	障害者雇用による職員配置の有無	9
4.	開館時間における具体的な人員配置及び人数(週間スケジュール表)	9
5.	四日市市や近隣福祉施設との連絡・連携体制	10
V.	職員の研修について	10
1.	人材育成に向けた基本方針	10
2.	令和4年度における職員の研修	10
VI.	業務の年間計画等について	10
1.	四日市市障害者体育センターの使用許可に関する事	10
2.	四日市市障害者体育センターの利用料金の収納に関する事	10
3.	四日市市障害者体育センターの施設及び附属設備の維持管理に関する事	11
4.	四日市市障害者体育センターの運営及び事業の実施に関する事	11
5.	危機管理体制の整備	12
6.	サービス向上のための方策等について	13
VII.	適正な管理及び経理について	14
1.	IT等への対応	14
2.	経理事務に関する内部チェック体制	14
3.	チェック体制を含むコンプライアンスの体制について	14
VIII.	安全管理、災害発生時等緊急時の対応について	14
1.	施錠、防火、盗難防止、不審者対策	14

2.	事故や災害発生時の連絡、通報体制(フロー図).....	14
3.	損害賠償などリスク対応(保険加入等).....	14
4.	防災、避難誘導訓練の実施.....	14
IX.	環境、障害者等への配慮について.....	14
1.	障害利用者が快適に利用できる良質な環境を提供する取り組み.....	14
2.	環境負荷低減のための具体的な取り組み.....	15
3.	施設周囲の環境保全.....	15

## I. 四日市市障害者体育センター管理・運営にあたって

グループ協定書に基づき、特定非営利活動法人ユニバーサル就労センター、特定非営利活動法人四日市市知的障害者育成会の2団体による四日市市障害者体育センター運営委員会の第2年目の事業報告を行う。

### 1. 令和4年度四日市市障害者体育センター利用実績

令和4年度月別稼働率(前期)								
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	前期合計	前年度比
障害者件数	17	20	23	19	13	18	110	129%
その他件数	28	24	31	29	16	30	158	135%
A.障害者人数	99	131	187	82	46	80	625	131%
その他人数	441	388	528	471	282	458	2568	147%
B.総利用人数	540	519	715	553	328	538	3193	144%
障害者利用率(= A/B)	18%	25%	26%	15%	14%	15%	20%	91%
総開館日数	25	24	26	26	25	24	150	124%
予約が無い日	1	2	1	0	4	0	8	89%
稼働日数	24	22	25	26	21	24	142	127%
週末(土、日)日数合計	9	9	8	10	8	8	52	100%
週末(土、日)稼働率	75%	74%	83%	88%	69%	60%	75%	104%
稼働率	81%	77%	85%	79%	59%	78%	77%	108%
月間稼働率前年度比	100%	112%	130%	99%	100%	-		

## 令和4年度月別稼働率(後期)

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	後期合計	前年度比
障害者件数	24	20	20	19	20	23	126	159%
その他件数	30	25	25	25	25	23	153	158%
A.障害者人数	178	124	98	90	117	154	761	167%
その他人数	592	457	370	385	403	418	2625	172%
B.総利用人数	770	581	468	475	520	572	3386	171%
障害者利用率(= A/B)	23%	21%	21%	19%	23%	27%	22%	97%
総開館日数	26	23	24	22	22	27	144	133%
予約が無い日	0	0	0	1	0	1	2	40%
稼働日数	26	23	24	21	22	26	142	138%
週末(土、日)日数合計	10	8	9	9	8	8	52	100%
週末(土、日)稼働率	97%	92%	90%	96%	89%	79%	90%	135%
稼働率	88%	86%	78%	85%	86%	73%	83%	87%
月間稼働率前年度比	92%	89%	82%	92%	-	77%		

曜日別稼働率	月	水	木	金	土	日
上期	97%	61%	68%	83%	68%	82%
下期	100%	56%	63%	93%	87%	94%
年度間	98%	59%	65%	88%	77%	88%

## 年間稼働率

	R3 年度	R4 年度	前年度比
障害者件数	164 件	236 件	144%
その他件数	214 件	311 件	145%
A.障害者人数	933 人	1386 人	149%
その他人数	3272 人	5193 人	159%
B.総利用人数	4205 人	6579 人	156%
障害者利用率(=A/B)	22%	21%	95%
総開館日数	229 日	294 日	-
予約が無い日	14 日	10 日	-
稼働日数	215 日	284 日	-
週末(土、日)日数合計	104 日	104 日	-
週末(土、日)稼働率	70%	83%	118%
稼働率	94%	97%	103%

## II. 管理・運営を行うにあたっての基本方針

### 1. 四日市市障害者体育センターの設置目的を踏まえた指定管理者としての基本方針

- (1) 公の施設であることを意識し、どの団体にも公正公平な運営を心掛けた。
- (2) 広報紙について、当館スタッフの紙面作成に関する所感を記載した項目（編集後記）を追加。令和3年度末（4月号）には利用者アンケートの集計結果と意見を元にした改善結果を掲載し、令和4年度自主事業（今年度より体育センターまつりと呼称）特集などの記事を掲載した。また、今年度のアンケートには広報紙の内容に関する設問を加えるなど、より多くの人々に愛される広報紙ができるよう工夫を加えた。
- (3) アンケートは昨年度に引き続き各団体2名～3名ずつ回答をお願いし、新規団体にも回答をお願いするなど、幅広い意見・感想の収集に努力した。
- (4) 職員が協力して花壇の花を植えるなどの景観改善に努力した。
- (5) 「不特定多数の人が出入りする建物に対して、初期消火や避難誘導などの訓練を年2回以上実施する」という消防法第8条に基づき消火・避難・通報訓練を行った。  
1回目は令和4年6月19日（日曜）に四日市南消防署南部分署の職員、当館の消防点検を担当する矢田商会立合いのもと、四日市市身体障害者団体連合会（四身連）と合同で実施した。訓練・講評ののち、職員の間で反省と今後の改善を話し合った。  
2回目は令和4年12月4日（日曜）に矢田商会の立合いのもと、四日市市知的障

害者育成会(四日市市手をつなぐ育成会)と合同で実施し、訓練後職員の間で反省と今後の改善を話し合った。

- (6) 当館広報紙の取材活動を通して、取材した障害当事者団体の代表の方から障害者スポーツ教室のような催しを行ってはどうか、といった提案が出た為、次年度からの課題にすることとしたい。

## 2. 障害者のスポーツ、レクリエーションの振興

- (1) 2年ぶりに当館自主事業<sup>1</sup>・体育センターまつりを開催し、ボッチャ・フライングディスクに加えて、ストラックアウト・ドッチビー・輪投げなどを多くの参加者に楽しんで頂くことができた。体育センターまつりは、障害当事者 41 名、支援者・関係者等 48 名の、計 89 名の参加者だった。前回、令和 2 年度自主事業の参加者・障害当事者 48 名、一般 28 名の計 76 名を上回る参加者に恵まれた。

## 3. 利用促進、利便性向上、経費削減等提案

- (1) 館内外の清掃、花壇の水やり等の手入れ、備品等の整備に気を配り、いつ来館しても気持ちよく利用して頂ける環境づくりに努めた。
- (2) 非常口に設置した網戸を修繕・改良し、開閉のしやすさや避難時における安全性を向上させた。

# III. 施設管理運営の実施方針

## 1. 管理運営、人員体制に関する実施方針

- (1) 現場職員が総括マネジャーにこまめに管理運営について気になる点、改善点などについて相談し、指示を仰いだ。また、不定期で運営委員による会議を行い、会議で決定したことに基づいて運営を行った。
- (2) 自主事業・体育センターまつりにおいてはボッチャ、フライングディスク・ドッチビー各 1 名、計 3 名の講師を招き、分かりやすい競技説明をして頂いた。

## 2. 施設・設備のメンテナンス

- (1) 館内の施設・設備の不備に気を配り、不具合を見つけたり、利用者から不具合を指摘されたりした場合は、四日市市・運営委員会と協議のうえ、速やかに対処した。
- (2) 矢田商会に新しい火災報知器受信盤の取り付け工事をして頂いた。古い受信盤は 90 年代製のため、故障すると代替品が無いということだった。これにより、令和 3 年度から順次更新を行っていた火災報知器設備の刷新が完了した。
- (3) 以前より動作不良が起きていた雑巾等洗濯用の洗濯機を更新した。

---

<sup>1</sup> 令和 3 年度自主事業は、新型コロナウイルス感染症が猛威を奮ったため、中止した。

### 3. 施設利用者様の安全性確保・体調不良時の一時対応

- (1) 夏季や自主事業時の熱中症対策として、冷蔵庫に利用者用のスポーツドリンクを常備し、体調不良時の対応に努めた。
- (2) 職員が上級救命講習を受講するなど、緊急時の対応を学んだ。

### 4. 法令遵守、個人情報保護

- (1) 運営時における様々なハラスメント行為(パワーハラスメント、セクシャルハラスメント等)には細心の注意を払った。

### 5. 管理運営における利用者様の意見の反映

- (1) 普段から利用者が職員に何でも話しやすい雰囲気づくりに尽力し、利用者からの要望については総括マネージャーや四日市市と適宜相談し、場合によっては運営委員会などで改善策を模索した。

### 6. 新型コロナウイルスなど感染症等への対応

- (1) 昨年度に引き続き受付名簿を作成して、当館の利用毎に団体各員の個人情報を記録した。また四日市市と相談の上、項目を減らすなど受付名簿の書式を改善する工夫も行った。
- (2) 玄関前に検温器を設置し、利用者各自で検温を行い受付名簿に当日の体温を書いて頂いた。
- (3) 各利用団体の当館利用後にソファ等除菌スプレーを撒布した。また、こまめに手摺り・水栓レバー・便座・靴箱・清掃用モップの柄・ドアノブ等をアルコール清拭し、冬季のインフルエンザ、新型コロナウイルス感染症の同時流行に備えた。

## IV. 施設等の管理運営方針について

### 1. 施設の運営体制や組織について

## (1) 管理運営のための組織図表、責任体制図表

## 【四日市市障害者体育センター運営委員会】

運営委員長	四日市大学教授 松井 真理子
運営委員 (総括マネジャー)	特定非営利活動法人ユニバーサル就労センター 副代表理事 金 憲裕
運営委員	特定非営利活動法人ユニバーサル就労センター 代表理事 松井 周
運営委員	特定非営利活動法人四日市市知的障害者育成会 代表理事 青戸 勝美
運営委員	特定非営利活動法人四日市市知的障害者育成会 副代表理事 水谷 泉
運営委員	四日市市障害者体育センター 施設長 高橋 亮
監事	公益財団法人ささえあいのまち創造基金 研究員 畑中 純一

## 【事務局】

施設長(常勤職員)	高橋 亮
施設長補佐 (常勤職員・会計)	長谷川 翔鳳
アルバイト職員	3名程度

## 【外部評価会議委員】

障害者自立支援施設 共栄作業所 所長 藤田 勝彦	
障害者自立支援施設 たんぽぽ 所長 山口 将輝	
三重県立特別支援学校 西日野にじ学園 校長 坂本 学	
特定非営利活動法人 共栄しらとりの会 副理事 三井 三千夫	
特定非営利活動法人 障害者福祉チャレンジドネット 理事長 山本 征雄	
四日市市身体障害者団体連合会 会長 伊藤 政敏	

## ※ 外部評価会議

- (1) 目的：四日市市障害者体育センターの事業内容への助言・提案・協力
- (2) 開催：年2回程度
- (3) 構成員：四日市市身体障害者団体連合会、その他障害者関係団体等

## 2. 組織図表に記載された職員の雇用関係、勤務体制(勤務時間、休日等)、担当業務内容、保有資格、技術、緊急対応時の役割を明記した一覧

職員氏名	雇用関係	勤務体制・勤務時間 ・休日等	担当業務 緊急時役割	保有資格
高橋 亮	施設長 (常勤職員)	水～土：7.5 時間 日曜 7.5 時間又は 月曜 4.5 時間 (原則隔週で交替)	施設長 総括・ 危機管理	上級救命講習 受講済み 防火管理者
長谷川 翔鳳	施設長補佐 (常勤職員)	水～土：7.5 時間 日曜 7.5 時間又は 月曜 4.5 時間 (原則隔週で交替)	施設長補佐 広報 IT 施設管理 会計	危険物取扱者 乙1～6種 第2種電気工 事士 日商簿記3級
鈴木 二三子	アルバイト	原則毎月第2火曜日	館内 WAX 掛け 清掃・ 草取り清掃	
江川 聰代				
杉野 理悟				

## 3. 障害者雇用による職員配置の有無

職員氏名	障害種別・障害等級等
高橋 亮	精神障害・精神3級
長谷川 翔鳳	発達障害・精神3級
アルバイト職員(複数名)	身体障害(視覚障害・肢体障害)

## 4. 開館時間における具体的な人員配置及び人数(週間スケジュール表)

曜日	勤務時間・勤務者		
	午前9時～午後1時	午後1時～午後5時	午後5時～午後9時
月		高橋又は長谷川 (原則隔週で交替)	
火	原則毎月第2火曜日午前中に館内 WAX 掛け・草取り清掃をしました。		
水		高橋、長谷川	
木			
金			
土			
日	高橋又は長谷川(原則隔週で交替)		

## 5. 四日市市や近隣福祉施設との連絡・連携体制

毎年行われていた四郷地区防災訓練は、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響を受けて中止になったが、西日野福祉ゾーン独自の防災訓練を行ったり、共栄作業所、たんぼぼ、西日野にし学園等と様々な情報(不審者情報、防災訓練等の連絡等)を交換したりしている。

## V. 職員の研修について

### 1. 人材育成に向けた基本方針

- (1) それぞれの障害を認識したうえで、社会の一員としての役割を果たせる人づくりを目指した。
- (2) 誰もが発言しやすい雰囲気づくりを心掛けた。極力穏やかな口調・態度で職員同士が接するなど、ハラスメント防止に努めた。

### 2. 令和4年度における職員の研修

#### (1) 救急救命研修、防災研修

救急救命講習は、令和4年11月19日(土曜)に当館職員が四日市市消防本部にて上級救命講習を受講した。胸骨圧迫、AED使用法等の講習と実技演習を行った。

#### (2) 人権研修

令和4年9月13日(火曜)に、全職員を対象にして市民社会研究所の松井真理子先生を招き「性の多様性を考える」人権研修を、当館にて開催した。LGBTQに代表される性的マイノリティについて考える機会に恵まれた。

#### (3) 障害福祉研修

令和5年2月26日(日曜)に、当館も受け入れを行った合計3名の障害当事者の就労訓練についての成果発表会(正式名称・つながりの仕事おこし事業・成果発表会)に職員が参加した。

## VI. 業務の年間計画等について

### 【指定期間の業務の年間計画】

#### 1. 四日市市障害者体育センターの使用許可に関すること

条例に基づき施設の使用可・不可、使用変更の決定を行った。また、近年の新型コロナウイルス感染症をはじめとする感染症の拡大や新規利用者の獲得による申請・還付手続きの増加に伴い、利用者様受付簿の書式の改善を図り、作業の効率化と正確性の向上に努めた。

#### 2. 四日市市障害者体育センターの利用料金の収納に関すること

条例に基づき、適正に利用料金の徴収、還付等を行った。

### 3. 四日市市障害者体育センターの施設及び附属設備の維持管理に関すること

- (1) 当館の適切な管理の為、施設・設備・備品等の保守及び維持管理を仕様書に従って行った。また、水道光熱費等の支払い、文書類の管理、施設の視察等の対応についても適宜、四日市市と協議のうえ進めた。
- (2) 利用者の意見を積極的に聴取し、古い卓球台の更新など利便性の向上に努力した。

### 4. 四日市市障害者体育センターの運営及び事業の実施に関すること

- (1) 職員の配置  
業務に従事する職員は、前年度に引き続き「障害者総合支援法」で規定される障害当事者2名の常勤職員とした。
- (2) 障害当事者の就労訓練  
令和5年1月に2名、令和5年2月に1名、令和5年3月に2名の障害当事者の就労訓練を当館にて行った。当館の就労訓練が大変勉強になった、という感想を寄せた就労訓練生もいらっしやった。
- (3) 障害者スポーツの振興  
障害者スポーツの普及と健康福祉増進の為、2年ぶりとなる自主事業・体育センターまつりを、令和4年10月15日土曜日に開催した。ボッチャ・フライングディスクといった従来の障害者スポーツに加え、ドッチビー・ストラックアウト・輪投げなどのコーナーを設け、全員が参加しやすいよう工夫した。また、令和4年11月26日(土曜)に障害児・者団体による運動会が開催され、当館は通常の利用業務以外に、他施設からの用具貸し出し手続きの協力を行った。また、新規の障害者卓球団体が実験的に当館を利用する機会にも恵まれた。今後、当館を運動会の会場として利用してもらう事が利用率向上に繋がるのではないかと考え、広報紙(第20号)にて運動会の会場として利用可能と記載した。
- (4) 職員の健康診断  
令和5年3月に常勤職員2名の健康診断を、各医療機関にて実施した。

## (5) 職員研修、訓練

以下の表の通り、実施した。

実施年月日	研修、訓練内容	備考
令和4年6月 19日(日)	令和4年度第1回消防 総合訓練	四日市市身体障害者団体連合会様、四日市市南消防署南部分署様、矢田商会様(当館消防点検委託業者)の協力の下で実施。
令和4年9月 13日(火)	人権研修 (LGBTQについて)	当館事務室にて市民社会研究所の松井真理子先生から当館職員が講義を受けた。
令和4年11月 19日(土)	上級救命講習	四日市市消防本部にて職員1名が主に胸骨圧迫・AEDの使用方法について講習を受けた。
令和4年11月 21日(月)	西日野福祉ゾーン合同 防災訓練	職員1名が震度4程度の地震を想定した、西日野福祉ゾーン合同防災訓練に参加した。主にトランシーバー訓練を行った。
令和4年12月 4日(日)	令和4年度第2回消防 総合訓練	四日市市知的障害者育成会様、矢田商会様の協力の下で実施。
令和5年2月 26日(日)	障害福祉研修 (つながりの仕事おこし 事業・成果発表会)	本町プラザ1階ホールで行われた、当館も関わった事業の成果発表会に職員が参加した。

※ 令和4年度第1回・第2回消防総合訓練、人権研修については当館ホームページにも記事を記載した。

## (6) 安全性の確保

古い設備(卓球台等)の更新を行い、利用時の安全確保に努めた。

## (7) 衛生管理

常に快適な利用ができる状態の保持に努めた。

## 5. 危機管理体制の整備

## (1) 緊急時の体制の確立

震度4以上の地震、大雨、洪水等の警報が発令された場合は、翌日の勤務時に施設の被害の有無を速やかに四日市市に連絡した。その他にも、台風接近後などは館内・外の見回りを行い市に報告した。

## (2) 防災対策の実施

Vの4.の(4)の表の通り、年2回以上の実施が義務付けられている消防総合訓練を行った。

## 6. サービス向上のための方策等について

### (1) トラブル防止と苦情対応(苦情受付・対応マニュアルなど)

トラブルや苦情等は無かったが、アンケート等を用いて常に意見を受け入れるようにしている。

### (2) 業務の一部委託を予定する場合について

#### ・ 施設、設備点検業務

実施年月日	事業者	点検内容	点検費用
令和4年6月19日 (日)	矢田商会	第1回消防点検	38,500円
令和4年9月21日 (水)	株式会社 山田建築設計	建築物・ 建築設備点検	110,000円
令和4年12月4日 (日)	矢田商会	第2回消防点検	33,000円
点検費用合計			181,500円

#### ・ 修繕業務

納金年月日	事業者	業務内容	工費
令和4年8月27日 (土)	矢田商会	自動火災報知設備 受信機取替工事	214,500円
令和4年8月29日 (月)	電気屋スマイル	ブレーカー取替工事	21,340円
令和4年9月10日 (土)	小林建設株式会社	体育室ガラリ組替 工事	46,200円
令和4年12月7日 (水)	小林建設株式会社	玄関上屋鉄骨塗装 補修工事	93,500円
令和4年12月18日 (日)	小林建設株式会社	通風窓ステン網戸 張替え工事	99,000円
修繕費用合計			474,540円

#### ・ 清掃業務

納金年月日	事業者	業務内容	費用
令和5年2月6日 (月)	三重建光社	ロビー、体育室 ガラス等清掃	68,000円

### (3) 施設周辺の障害福祉関係機関との有益な関係構築

- 今年度は新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、毎年10月の四郷地区防災訓練の参加、毎年11月の共栄作業所の運動会の開催は中止となった。唯、共栄作業所やたんぼぼとは広報紙を納品に伺うときなど、折に触れて情報交換を行った。

## VII. 適正な管理及び経理について

### 1. IT等への対応

ホームページを定期的に更新し、四日市市の公共施設予約システムも積極的に活用した。予約システムは観覧不備の防止の為、予約確定後の速やかな入力や2名の常勤職員による確認を行うなど、適切に管理した。

### 2. 経理事務に関する内部チェック体制

口座引き落とし・購入物品の速やかな帳簿記入や、週の終わりや月末などに金庫内金銭の確認を行い、これらを常勤職員2名で確認した。

### 3. チェック体制を含むコンプライアンスの体制について

- (1) 総括マネジャーの下に適切な管理を行った。
- (2) 外部評価会議を開催し、事業内部のチェックや助言を頂いた。
- (3) 銀行業務経験のある監事による会計監査を令和4年4月に行った。

## VIII. 安全管理、災害発生時等緊急時の対応について

### 1. 施錠、防火、盗難防止、不審者対策

- (1) 施錠と電源は必ず点検・確認を行う以外に、電気機器の断線・老朽化にも注意した。
- (2) 防火責任者と注意書きを掲示した。

### 2. 事故や災害発生時の連絡、通報体制(フロー図)

緊急時連絡網をもとに連絡します。

### 3. 損害賠償などリスク対応(保険加入等)

団体総合生活補償保険の他、イベント開催時(自主事業・体育センターまつり開催時)にはボランティア行事用保険に加入した。

### 4. 防災、避難誘導訓練の実施

利用団体の協力を得て、令和4年6月と12月の2回、消防総合訓練として避難誘導訓練を行った。

また、令和4年11月には、西日野福祉ゾーンにて地震を想定したトランシーバー訓練を行った。

## IX. 環境、障害者等への配慮について

### 1. 障害利用者が快適に利用できる良質な環境を提供する取り組み

玄関前を移動困難者用駐車場として利用できるよう配慮した。

## 2. 環境負荷低減のための具体的な取り組み

昨今のペーパーレスの風潮を鑑み、定期的な利用を行う団体には記入事項の変更時のみ申請書を提出してもらうようにするなど、紙資源の節約に努めた。

<参考>

年間光熱水費データ

	ガス料金(円)	電気料金(円)	水道料金(円)
令和3年度	18,630	324,253	100,023
令和4年度	18,894	495,836	105,741

## 3. 施設周囲の環境保全

当館職員が玄関前に植物を植えるなど、花壇の保全、整備に加え、施設周囲の定期的な見回りを通し、美観保全に努めた。